

入院のしおり



--- 入院される患者さんへ ----

病院の理念・方針

院是 -

院是である"心"は、先端医療の進歩が一段と加速するであろう21世紀において、医療に従事するものにとって失うことの許されない、最も大切なものと考えます。



理念 -

医療現場で働く喜びを自覚し、医療を通して社会と地域に貢献します。

基本(品質)方針 —

- 1. 病院を訪れる患者さんや、その家族の心の痛みを見逃さない、心温まる医療を提供します。
- 2. 常に最新の医療知識と技術の修得に努め、有機的な多職種連携によるチーム医療を追求します。
- 3. 住み慣れた地域で、いつまでも患者さんが自分らしく暮らせるよう、安全で安心な医療を継続的に提供します。
- 4. この地域で継続的な質の高い医療を実践できる事業体となるため、絶えず経営改善に努めます。
- 5. 患者さんを大切にするように、職員も大切にします。

患者様の権利 ----

人格を尊重される権利 → 人権

適切な医療を平等に受ける権利 → 平等権

医療上の情報を知る権利 → 知る権利

医療上の行為を選択できる権利 → 選択権

プライバシーを保護される権利 → 保護権

---- 目 次 -----

病院の基本理念

	次 ····································	1						
	■ 入院の手続きについて							
	入院期間と退院後について	2						
	入院中の生活・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3						
	入院費のお支払い	4						
	入院される患者さんとご家族の方々へ	4						
	安全で快適な入院生活を過ごしていただくために ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4						
	入院時にご準備いただくもの	5						
	感染予防についてのお願い	5						
	せん妄の予防と対策について	6						
	高額療養費制度について	7						
■ 相談窓口のご案内 ······· 7								
■ 済生会かぞ訪問看護ステーション ······· 7								
	■ 診療に伴い発生する試料等の医学研究への 利用についての同意(包括的同意)に関するお願い ····································							
	遺伝について	9						
	ご入院される方とのお約束	10						

ご提出いただく書類

入院の手続きについて

入退院支援センターに、次の書類等をご提出ください。

(1) 保険証・マイナンバーカード(マイナ保険証)・各証明証等

健康保険、労災保険、生活保護法などで入院の方は、必ず保険証またはマイナンバーカード(マイナ保険証)および各証明証、受給者証等をご提示ください。お持ちにならないと自由診療(自費精算)扱いとなりますのでご注意ください。

なお、保険証、マイナンバーカード(マイナ保険証)をご提示された方は、健康 保険限度額適用認定証等のご提出は必要ございません。



(2) 入院期間の確認と退院証明書および入院申込書兼保証人承諾書

当院への入院に際して、患者さんが過去3ヶ月以内に他の病院(診療所)に 入院していたかを正確に申告することが義務づけられています。

このため入院のしおり内の「他施設入院療養調査」にご回答のうえ、以前の退院に際して「退院証明書」が発行されていた場合は、一緒にご提出ください。また、当院へ入院する際に、「ご入院される方とのお約束」をご一読いただき、お約束いただけましたら「入院申込書兼保証人承諾書に必要事項をご記入の上、ご提出ください。

*同じ病気で病院(診療所)に通算180日を超えて入院される患者さん(精神 科等を除く)は、健康保険による一部負担金以外に入院医療費の一部を負担 いただくことが法律により定められております。



入院期間と退院後について

当院は、地域の医療機関との連携・協力を中心として診療を行っております。「かかりつけ医」から紹介された急病の方や大きな病気が疑われる患者さんの検査や治療を行います。その結果、患者さんの病状が安定した場合、もしくは当院での入院治療が終了したと担当医師が判断した時点で退院または「かかりつけ医」のもとで治療を継続していただきます。

また、当院は、脳や心臓疾患、多発外傷などの患者さんを受け入れられる<u>「救急</u> 告示病院」です。そのため、重症あるいは病状が不安定な患者さんをいつでも受け 入れられるよう常に「空き病室を確保」しておく必要があります。

このような理由から、退院目標に到達され、病状が安定した患者さんにはなるべく 「早期に退院・転院」 していただき、他の医療機関やご自宅等で療養されることをお願いしております。また、患者さんやご家族が安心して退院を迎えられるようケアマネジャーおよび医療機関等と情報共有を行っております。

入院から退院後の転院、療養生活につきましては、「医療相談窓口」を設けてご相談を受けておりますのでご利用ください。



入院中の生活

食事	●朝食は8時頃、昼食は12時頃、夕食は18時頃となっております。●持ち込みの食事等に関しては、主治医もしくは看護師にご相談ください。なお、食事に白湯などの飲物はついておりませんのでご注意ください。●箸、スプーンの準備は不要です。			
入浴	●病院の休日(土曜日・日曜日・祝日・年末年始)以外は、主治医の入浴許可があれば予約で入浴できます。●入浴できない方には、休日を除いて蒸しタオルをお配りいたします。必要であれば看護師がお手伝いいたします。			
病室の希望 について	●お部屋の状況、病状等により希望に添えないこともあります。また、状況によりお部屋移動をお願いすることがあります。			
ご面会	●面会時間は、正午から午後8時までとなっております。 *他の患者さんのご迷惑になりますので、多人数や長時間のご面会、12歳以下のお子様連れでのご面会はご遠慮ください。また、面会時間内であっても病状や感染症流行等によりご面会をお断りさせていただくことや、制限させていただくことがありますのでご了承ください。			
お見舞い客のご案内	●入院されている患者さんについて、来院されたお見舞い客には、全てご案内させていただいております。(電話問い合せは行っておりません)●入院される患者さんのうち、お見舞い客へのご案内をご希望されない方は、「案内停止申請書」をご提出ください。			
全面禁煙	●当院は、患者さんのスムーズな病気回復を目的に、敷地内全面禁煙とさせていただいております。禁煙にご協力いただけない場合は、強制退院となることもあります。			
Wi-Fi	●当院では、入院患者さんに快適に過ごしていただくため、全病室に無料Wi-Fiを設置しました。ご利用の際は、下記の注意事項をご確認の上、ご自身の責任においてご利用ください。 ●他の入院患者さんの迷惑とならないようご利用ください。 ●病院職員から、機器の使用を控える指示があった場合は、その指示に従ってください。 ●接続や設定方法など、利用に関する質問の受付およびサポートは行いません。 ●Wi-Fiの利用に関する機器の貸出しは行いません。			
外出・外泊	●原則として禁止です。特別な理由のある方は、主治医の許可が必要となりますので、主治医 もしくは看護師までお申し出ください。			
付き添い	●原則として認めておりません。重症患者さんなどの場合は、必要に応じてご家族に付き添い いただくこともあります。			
電話	 ●当院では、携帯電話端末(スマホ・タブレット等)の使用について、下記のルール及びマナーを遵守していただき、周囲の方のご迷惑とならないようご協力をお願いいたします。 ●院内ではマナーモードに切り替え、操作音が出ないようにしてください。 ●大声による通話や長電話など診療の妨げとならないようご配慮ください。 ●カメラ・動画・録音機能の使用はご遠慮ください。 ●歩きながらの使用(歩きスマホ)は危険なためご遠慮ください。 			
洗濯物	●洗濯機および乾燥機は、各フロアーにご用意がございます。 洗濯物は、病棟入口での受け渡しは可能ですので看護師へご相談ください。			
消灯	●消灯は、午後9時です。消灯後は、病室で静かにお休みください。			
病状等の説明	●病気のことや検査・治療については、主治医や看護師に十分な説明を受けてください。 疑問な点は、主治医あるいは看護師にご相談ください。●病状等の説明を受けてもなおご納得できず、他院での診断を希望する場合は、紹介状をお書きしますので主治医にお申し出ください。			
●入院中の患者さんが他医療機関を受診することは原則として禁止されております。他医療機関の ・診を希望する場合は、必ずその旨を主治医へお伝えください。家族の方が代理で受験について ・を取りに行かれる場合も同様にお願いいたします。無断で他医療機関を受診した場診療(自費精算)扱いとなる場合がありますので、予めご了承ください。				

入院費のお支払い

●入院費のお支払いは、**退院当日に1階の精算機**または会計窓口にてお支払いください。

退院日が当院の休日の場合は、次回外来日にお支払いください。

- *領収書は、医療費控除申請等のために大切に保管してください。再発行はできませんのでご注意ください。
- *お支払いは、各種クレジットカードがご利用いただけます。
- * 当院の入院医療費の計算方法は診断群分類包括評価(DPC)方式です。



入院される患者さんとご家族の方々へ

<退院日について>

退院日は主治医が決定します。当院での治療を待っている患者さんがいらっしゃいますので、患者さんのご希望とは関係なく退院していただくことになります。予めご理解の上ご協力をお願いいたします。

<身体拘束について>

患者さんの中には、入院による環境の変化や病状などの影響から、精神的に不安定となり不眠になることがしばしば認められます。時にはせん妄状態といって自分が入院していることも解らなくなり、点滴やチューブなどを引きちぎる行為や、急に立ち上がってベッドから転落するなど危険なことも少なくありません。

当院といたしましては、患者さんの安全を第一にお世話をさせて頂きますが、患者 さんに危険が予測される場合には、やむを得ず安定剤などの投与を行うことや、身体 拘束(手足を縛る)などの緊急措置をとらざるを得ない場合も発生いたします。

ご家族の方々に説明が間に合わないうちに、身体拘束を行うこととなる場合もございますが、十分ご理解いただきご協力をお願いいたします。



安全で快適な入院生活を過ごしていただくために

- ●当院では生活環境を整備しながら「転倒・転落」予防に努め、治療およびケアにあたっております。ケガ・骨折等の防止のために・安全ベルトや離床センサー、衝撃吸収マット等の介護用品を使用させていただく場合がございます。また、スリッパ、サンダルは転倒の原因となるため、かかとのある普段履き慣れた履物をご準備していただけるようお願いしております。
- ●患者認証のため、手首にリストバンドを装着させていただきます。また、確認の ためお名前・生年月日を名乗っていただきますのでご協力お願いいたします。



入院時にご準備いただくもの

持ち物チェックリスト

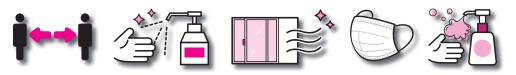
── 保険証またはマイナンバーカード	(マイナ保険証)、診察券
	認定証
現在使用中のお薬、お薬手帳	部へと おくすり手帳
パジャマ、下着類	
一 洗面用具、シャンプー等	
屋き慣れた運動靴など	
日用品(マスク・タオル・コップ・ラ	ティッシュペーパー・イヤホン・義歯洗浄剤等)

※入院される診療科によっては、そのほかに必要なものがありますので、看護師にお尋ねください。
※パジャマ・タオル・紙おむつ・肌着セット(前開きシャツ、下着)は、2階にある売店にて有料レンタルを行っております。

感染予防についてのお願い

当院では、入院病棟内での感染予防対策を積極的に行っていますが、ご面会につきましては下記の点に ご留意くださるよう、ご協力をお願いいたします。

- *発熱・咳・嘔吐・下痢等の症状がある方は、ご面会をご遠慮下さい。
- *12歳以下のお子様のご面会はご遠慮下さい。(事情により面会を希望される場合は、 病棟看護師にご相談下さい。)
- *面会時には、必ずマスクの着用をお願いいたします。また、お帰りになりましたら、 うがい・手洗いを励行して下さい。
- *面会時間内でも症状によりご面会をお断りさせていただくことがあります。また、 ウイルス感染等の状況次第では、面会時間の変更や面会禁止となりますので予め ご了承下さい。



せん妄の予防と対策について

☆入院して間もない時期にせん妄が生ずることがあります。 ☆せん妄とは、以下のような事が原因でおこる意識の混乱です

□体調不良 □手術後 □お薬の影響 □入院による環境の変化

など原因はさまざまです。

☆せん妄の時には患者さんに以下のような変化があります

*全ての方にみられるわけではありません。

- □時間がわからなくなる、今いる場所が分からなくなる
- □幻覚(普段見えないものが見えたりする)
- □睡眠のリズムがくずれる(夜間は眠れず、昼間にうとうとする)
- □話のつじつまが合わない
- □落ち着きがない
- □怒りっぽくなる
- □治療のための点滴や管などを抜いてしまう

☆せん妄になりやすいのは以下のような方です

- □高齢の方
- □物忘れが目立ってきた方
- □以前にせん妄を起こしたことがある方
- □脳梗塞や脳出血になった事がある方
- □アルコールを多く飲む方

☆せん妄を予防するために、入院中にお願いしたいこと

- □朝から日光を取り入れたり、部屋を明るくしましょう。
- □眼鏡や補聴器や入れ歯を持参しましょう。

入院中も使用して下さい。

- □時計やカレンダーを持参しましょう。
 - いつも近くにおいて日時を一緒に確認しましょう。
- □日中の活動を助けるものを持ってきましょう。

(例)ラジオ、テレビ契約、本、日記帳、携帯電話、塗り絵

- □軽い運動などをしましょう(安静の指示が出ている場合などを除きます)
- □そばにあると安心できるものを持ってきましょう。

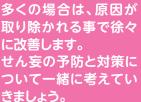
(例)家族の写真、趣味のもの、愛着がある物

- □痛みや便秘など症状で気になる事は職員へ相談しましょう。
- □入院生活で心配なことがあれば職員へ相談しましょう。
- □ご家族と面会や電話等で連絡を取り合いましょう。 状況によっては付き添いをお願いすることがあります。
 - *面会制限等の場合を除きます。

☆せん妄がおこった場合の対処について

- □せん妄の原因を検討し、それを改善するよう対処します。
- □せん妄を緩和するようなお薬を使う場合があります。

せん妄は、予防や早期発見・早期対処が肝心です。 患者さんやご家族のご協力をよろしくお願い致します。



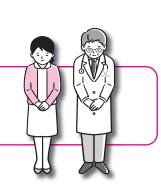












高額療養費制度について

医療機関や薬局の窓口で支払った額(入院時の食費負担や差額ベッド代等は含まない)が、ひと月(月の初めから終わりまで)で上限額を超えた場合に、その超えた金額を支給する制度です。上限額は、年齢や所得によって異なります。

なお、詳しいことは加入しているそれぞれの保険者へお問い合わせくだ さい。



相談窓口のご案内

安心して治療・療養継続できるように患者さんやご家族からの相談窓口を 設置しています。

病気に伴って起こる不安や困りごとについて一緒に考えていく、専門の相談員 がおります。

他の病院への転院や有料老人ホーム、介護老人保健施設等への入所、リハビリを目的とした転院や訪問看護ステーションなどについても相談に応じております。

医療費や生活費の心配、社会保障制度について、治療や当院退院後の施設入所や転院についての不安、退院後の自宅での生活に不安がある、介護・介護保険について、医療安全に関する内容などそれぞれに担当者が相談に応じております。また、誰に相談すればよいか分からないことなど、お気軽にご相談ください。

ご相談については一切無料です。



済生会かぞ訪問看護ステーション

退院にむけて不安を抱えていらっしゃる患者さんやご家族が、住み慣れた 地域やご家庭で、その方らしく療養生活を送れるように、看護師が生活の 場へ訪問し、看護ケアを提供し療養生活を支援いたします。



相談窓口: 入退院支援センター

受付時間:病院診療日 9:00~17:00

*ご相談内容や時間により予約を取らせて頂くことがあります。

診療に伴い発生する試料等の医学研究への利用についての同意(包括的同意)に関するお願い

1. 診療に伴い発生する試料等について

患者さんが済生会加須病院で診療を受けられた場合、あなたの病気やあなた自身に関するいろいろな検査試料や診療情報が集められます。それらの主なものは、病歴(カルテ)、レントゲン写真や内視鏡写真などの画像情報、血液や尿などの検査試料、診断のための生検(胃内視鏡検査などの際に組織の一部を採取すること)試料、手術で切除した組織やその写真などです。

以下、これらを「診療に伴い発生する試料等」と総称することとします。

2. 試料等の利用について

診療に伴い発生する試料等は、あなたの診療に必要なものとして採取・保管されますが、その後診療上不必要となった場合でも医学研究のための大切な試料となることがあります。これらの試料等はがんや感染症等の病気の発生・進行・再発・予後との関わりや、病気に伴う症状、手術、薬物療法や放射線治療などによる治療の効果・副作用などについて研究する目的で利用されます。

3. 包括同意について

包括同意とは、診療上発生する試料等について、将来の研究に利用することについて予め行う同意を意味します。なお、試料等の利用方法については、済生会加須病院倫理委員会で十分審議されます。今後、倫理委員会での審議により認められた範囲において、患者さんの同意が得られている場合にはその試料等を研究に使用させていただきます。

本件について同意いただける場合は、「試料等の遺伝子解析研究目的利用に関する同意書 (包括的同意書)」にて対応させていただきますので、包括同意へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

4. 遺伝子検査について

がんをはじめとする病気の一部は遺伝子の変化により 発生することが明らかとなっています。 したがって、 われわ れの行う医学研究でも遺伝子の変化を調べることがあります。遺伝子には、「親から子へと受け継がれる遺伝子」と「親から子へ受け継がれない遺伝子」があります(詳細は『「遺伝」について』をご覧ください)。「親から子へと受け継がれる遺伝子」については、この包括的同意ではなく、必ず研究の都度患者さんの同意・不同意について確認し、同意が得られた場合のみ試料を研究に利用いたします。一方、「親から子へと受け継がれない遺伝子」の解析はこの包括的同意の対象となります。その場合でも、必ず倫理委員会で検討し、国の定める倫理指針にのっとって実施します。

5. 個人情報の保護

これらの試料等を医学研究のために利用する際には、個人情報との照らし合わせが必要になることがあります。ただし、これらの試料が医学研究に用いられる場合、試料等は匿名化して取り扱われ、個人情報識別管理者のみが個人情報との照らし合わせが可能となり、個人情報が外部に漏れないよう最大限の努力が払われます。これらの試料等を利用した医学研究によって得られた検討の成績などが、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、個人が特定できるような発表はいたしません。

6. 診療に伴い発生する試料等を利用した 医学研究の公開

診療に伴い発生する試料等を利用した医学研究のうち、済生会加須病院で実施することが承認された遺伝子変化に関する医学研究は済生会加須病院ホームページおよび院内掲示板に掲載され公開されます。

地域医療の最前線に位置する当院として、われわれは 日々努力を続けております。今後もますます、患者さんに よりよい医療が提供できるために、診療に伴い発生する 試料等を医学研究に利用させていただくことについて、ご 理解ご協力をお願い申し上げます。

2022年6月1日

社会福祉法人翻済生会支部 埼玉県済生会加須病院院長

[遺伝] 及び [遺伝子] について

「遺伝」とは

がんをはじめとする病気の一部は、遺伝子の変化により発生することが明らかとなっています。したがって、わたしどもが行う医学研究でも遺伝子の変化を調べることがあります。

「遺伝」という言葉は「親の体質が子に伝わること」を言います。体質は遺伝とともに生まれ育った環境によっても決まりますが、遺伝は基本的な部分で人の体や性格の形成に重要な役割を果たしています。

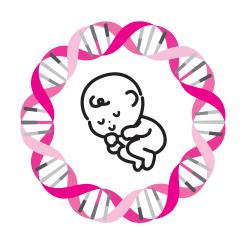
親から子へと受け継がれる遺伝子、受け継がれない遺伝子

「遺伝」という言葉に「子」という字がつき「遺伝子」となると、「遺伝を決定する最小単位」という科学的な言葉になります。遺伝子の本体は「DNA」という物質で、わたしたちの体をつくっている「人体の設計図」のようなものです。ひとりの人がもっている全てのDNAを「ゲノム」とよびますが、ゲノムは父親と母親から受け継いだ1組のDNAのセットからできています。

遺伝子の変化には、「親から子へと受け継がれる遺伝子」の変化と「親から子へと受け継がれない遺伝子」の変化があります。

親から子へ伝わる体質の中には、目の大きさ、身長といった顔かたち、体つきの他に、病気のなりやすさ、薬の効き具合なども含まれますが、それらに個人差が生じるのは、親から受け継いだ遺伝子が人によって少しずつ違っているからです。また、病気の直接の原因となっている遺伝子が親から子に受け継がれることもありえます。

一方、遺伝子に変化が起こっても、親から子へ受け継がれない場合もあります。はじめは 立派な新しい服であっても着ているうちにほころぶことがあるように、遺伝子も物質である 以上、最初正常でもどこかで切れたりつながったり、組み合わせが換ったりして変化するこ とがあります。例えば、がんは正常に働いていた細胞がその働きを失い勝手に増殖する病気 ですが、がんの発症にはさまざまな遺伝子の変化の蓄積が関係しているといわれています。 しかし、こうして起こった遺伝子の変化は一代限りで、子孫に伝わることはありません。



ご入院される方とのお約束

当院に入院されるにあたり、下記のことを含めて院内の諸規則を遵守していただくこととなります。万一、各種規則に違反したとき、または他の患者さんや職員への迷惑行為(身体的・精神的暴力等)になると判断されたときは、即時退院していただくことを了承していただき、下記事項についてお約束いただけましたら、入院申込書兼保証人承諾書をご提出ください。

記

- 1. 入院診療費その他諸費用については、入院者又は申込者により指定の期日 (請求日から21日以内) までに全額をお支払いいただきます。
- 2. 入院診療費その他諸費用について、入院者又は申込者が指定の期日(請求日から21日以内)までに全額を支払いいただけない場合には連帯保証人(株式会社イントラスト)に請求させていただきます。
- 3. 入院者の身元については、身元保証人において一切のお引き受けをお願いいたします。
- 4. 退院を指示された場合は、指定の期日に身元保証人の責任においてお引き受けいただきます。
- 5. 当院から指示された書類・証明書等は、指定の期日までに提出をお願いいたします。
- 6. 当院がオンライン資格確認を利用し限度額適用認定証等情報を得ることをご了承願います。

入院申込書兼保証人承諾書

埼玉県済生会加須病院 院長 行

=// XX / /	番号			
=⊓ 7	_	/-	В	

入院(予定)日 年 月 日

※入院者と申込者が同じ場合は、申込者欄の記載は不要です。

申込者							
氏 名			性別	□男 □女			
生年月日	白	月	日	入院者との関係			
郵便番号・住所	₸						
電話(自宅)				電話(携帯)			
勤務先名				電話(勤務先)			

入院者							
氏 名	氏 名					性別	□男 □女
生年月日		年	月	日	入院者との関係		
郵便番号・住所	₹						
電話(自宅)					電話(携帯)		
勤務先名					電話(勤務先)		

身元保証人									
氏 名					性別	□男 □女			
生年月日	年	月	日	入院者との関係					
郵便番号・住所	T								
電話(自宅)				電話(携帯)					
勤務先名				電話(勤務先)					

連帯保証人	
氏 名	株式会社イントラスト
住 所	東京都千代田区麹町1-4 半蔵門ファーストビル2階
電話	0120-372-603
極度額	30万円

連帯保証人は、入院診療費その他諸費用の全部又は一部が指定の期日(請求日から 21 日以内)までに未納の場合は、連帯してその責任を負うことを誓います。

※入院申込書兼保証人承諾書の提出をもって、株式会社イントラストを連帯保証人とする保証委託契約にお申し込みいただいたものとします。なお、入院申込書兼保証人承諾書の記載内容等の個人情報については、連帯保証人代行制度の運営に必要な範囲で株式会社イントラストへ提供させていただきますので、あらかじめご了承ください。

他施設入院療養調査

診療報酬算定において同一疾病で 180 日を超えて医療機関に入院している場合、入院料の一部が保険適用されず、自己負担になる場合があります。これは、同一の医療機関の入院日数だけでなく他医療機関へ再入院した場合も、同一の症状であれば入院日数を通算して計算されます。

その為、病院には患者さんの過去3ヶ月の入院歴を確認する義務が課せられ、患者さんには入院時に自身の入院歴を正確に申告する義務があります。

入院時には、以前に入院した医療機関から発行された退院証明書を必ずご提出ください。

恐れ入りますが、以下の内容についてお答え頂きますようご協力をお願いします。

,,,,	
1.	今回の当院入院日を基準日として過去3ヶ月以内に他医療機関で入院されていましたか。 □ はい → 2へ。 □ いいえ → ご提出は不要です。
2.	入院されていた他医療機関の退院証明書は持参されていますか。 □ はい → 退院証明書を入退院支援センターへご提出ください。 □ いいえ → わかる範囲で下記へ入院歴の情報をご記入ください。 医療機関名
	入院期間 年月日~年月日 主治医氏名
	患者氏名 記入者氏名(患者本人の場合は不要です)

案内停止申請書

				患者番号:	
済生会加須病院院長	行				
貴院では、申し出 ておりますが、私に					
申請日	年	月	日		
申請者					
患者氏名					

- ※この申請書は今回の入院期間についてのみ適用されます
- ※お問い合わせに対しましては、入院されていないことといたします

病棟担当	入力者	受取者

MEMO

アクセス



車の場合

東北自動車道「加須IC」より約15分 【渋滞なしで10分程度】

電車の場合 ——

東武伊勢崎線「加須駅」より徒歩で約10分

バスの場合・

東武伊勢崎線「加須駅」、JR線「鴻巣駅」より路線バスが 乗り入れております。

外来休診日

土曜日、日曜日、祝祭日 年末年始(12月29日~1月3日)



社会福祉法人
 腦済生会支部
 埼玉県済生会加須病院

SAITAMA SAISEIKAI KAZO HOSPITAL

